

小中一貫教育全国がトのおおつち

# 歓迎

学校安全指導者研修会  
参加の皆様  
ようこそ教育の町「おおつち」へ

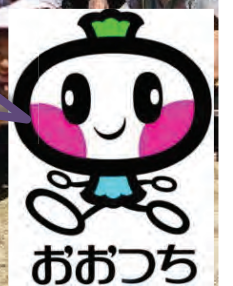


## 教育の町「おおつち」 0歳～18歳までの一貫教育 学校・家庭・地域で創る一貫教育

ぼくのまち「おおつち」の  
防災教育について紹介するね！

令和6年11月14日

大槌町教育委員会 学務課長 吉田 智



おおつち

## 本時の課題

全国各地からいらっしゃった安全・防災教育の中核を担う先生方に、大槌の教育(防災をメインに)の特色について説明させていただき、互いの教育の発展に生かす機会にさせていただく。

## 今日の説明内容

- 1 震災からの復旧・復興について
- 2 大槌学園の校舎建築について
- 3 大槌町の教育の3つの柱について  
「小中一貫教育」「ふるさと科」  
「コミュニティ・スクール」  
**(防災に関わる部分の紹介)**
- 4 大槌町の教育の**成果と課題**  
**(ほんの一部紹介)**



# 大槌町教育行政基本理念

「町づくりは、人づくりにあり  
人づくりは、教育にあり」



## 小中一貫教育導入の背景（震災前）



学力向上（かなり低い）  
不登校・問題行動  
小・中の段差  
指導方法の改善

中1ギャップへの対応



早まる成長

→ 思春期の早期化、自意識の芽生え  
自尊感情の低下



小学校と中学校がより連携を深め、学校・保護者・地域住民が協働して総合的に子どもたちを育む仕組み



卒業式の前日、放課後

## 1. 地震発生直後

- ① 生徒が残っているホール・教室へ
- ② 「**身を守る指示**」(落下物・ガラス等)
- ③ 「**励まし**」(大丈夫だよ)

## 2. 地震が治まってから

- ① **避難指示(グラウンドへ)**
- ② **生徒の確認**
- ③ **情報の収集**  
地震の震源地・震度・予想される津波の高さ(3m?)  
到達時刻(30分後)
- ④ 校舎内の点検
- ⑤ 地域の方々の避難誘導
- ⑥ 生徒を迎えに来た保護者への対応

## 津波の脅威(城山より)



# 東日本大震災



平成23年3月11日 14時46分 地震発生  
14時49分 大津波警報発表  
15時15分 津波襲来





**吉里吉里地区には、  
最大22.2mの津波が  
襲いました。**

## 吉里吉里中では 津波後の動き

### 津波直後

1. 帰宅した生徒の安否確認⇒消防団の方からの情報
2. 地域の方をさらに安全な高台に誘導
3. 生徒の健康状態確認と避難場所の確保  
⇒老人ホームへ

(老人ホームでの生徒への対応 副校長 担任 女性の先生)

### 生徒が老人ホームに避難後

1. 生徒の安否確認と避難場所の確保  
板地区へ
2. 避難してきた方への対応
3. 校舎内の後片付け

(学校での対応 校長 事務)

### 暗闇の中に対岸の火災が

- 深夜も続く余震
- 自衛隊員到着
- 体育館が遺体安置所に

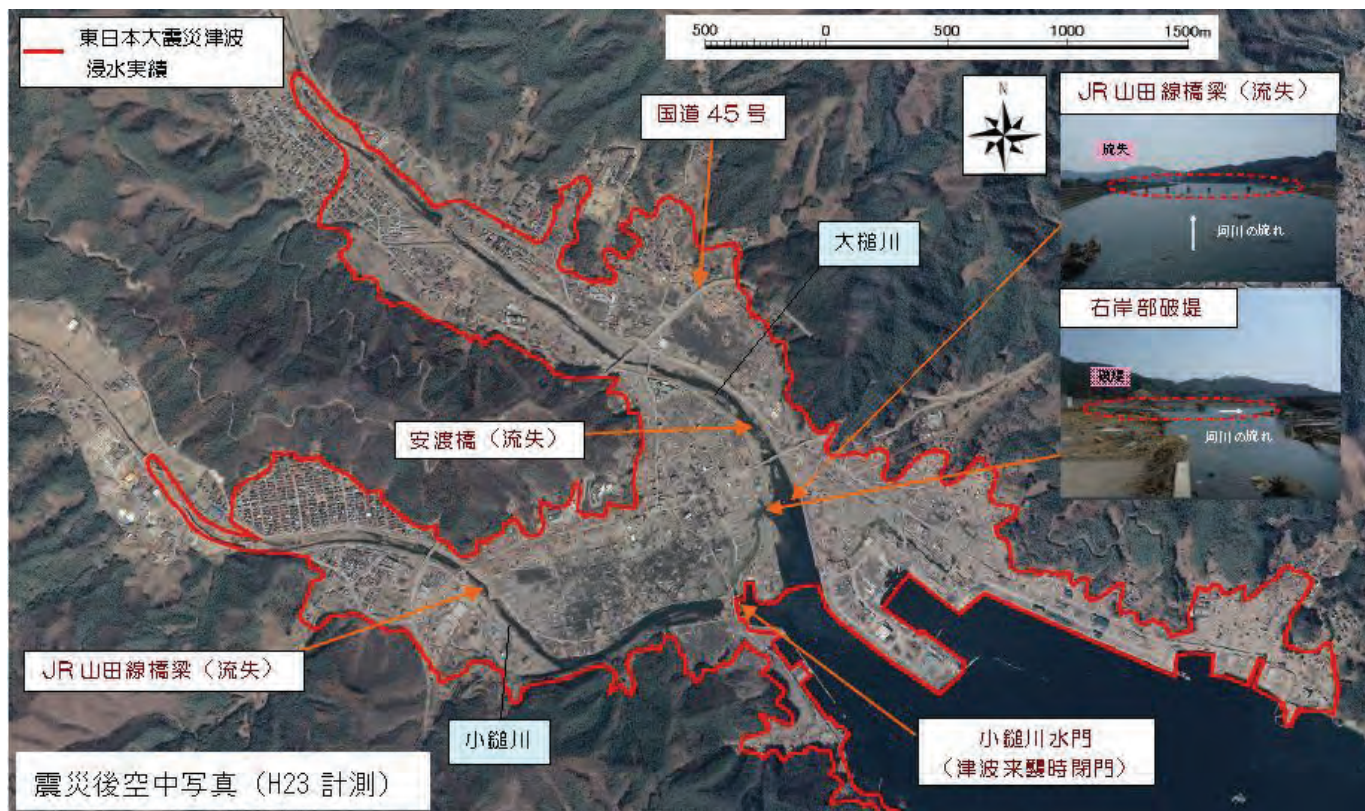






# 町内の浸水域

調査地域	最大波
赤浜	12.9m
新港町	12.7m
町役場付近	10.7m



21

## 甚大な被害

### ■ 人的被災状況 (R2/9/15現在)

- ・ 死亡者 821人
- ・ 行方不明者 412人
- ・ 関連死 52人
- ・ 合計 **1,285人**



### ■ 物的被災状況

- ・ 家屋全壊 . . . . . 3, 395棟
- ・ 家屋大規模半壊・半壊等 . . . . 713棟
- ・ 浸水面積 . . . . . 431ha (宅地浸水率 : 52%)  
(商業地浸水率 : 98%)

### ■ 人口推移

(H23/3/11現在) (R6/8/31現在)  
**15,994人 → 10,537人 (-5,457人 34.1%減)**

**※生徒数 1,262人 → 683人 (-579人 45.9%減)**

22

## 親を亡くした児童・生徒



### 両親を亡くした児童生徒

小学校： 1名      中学校： 1名

### 父親を亡くした児童生徒

小学校： 6名      中学校： 11名

### 母親を亡くした児童生徒

小学校： 17名      中学校： 8名

23

## 中・高校生がボランティアとして



24

# 避難所での卒業式



大槌小



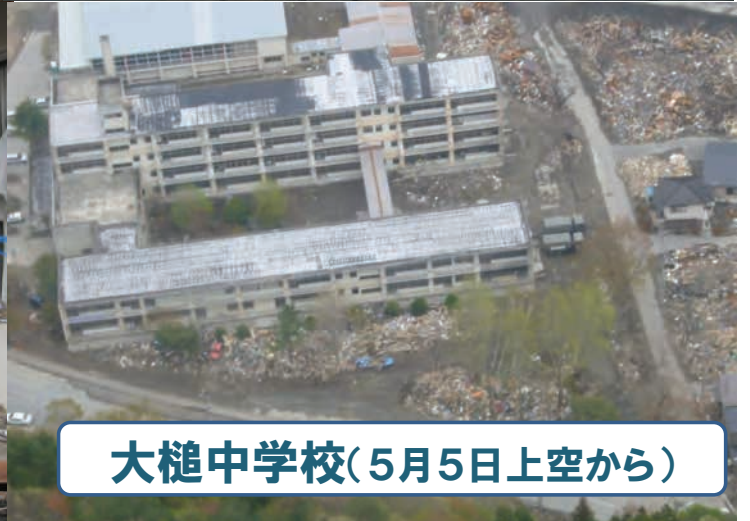
赤浜小



大槌北小



大槌中学校(5月5日上空から)



## 吉里吉里中 学校再開への道のり



### 学校再開までの障害

1. ライフラインの復旧の遅れ(電気・上下水道・電話)
2. 教科書や制服・ジャージ、学用品の確保

### 失敗談

教科書の印刷用の紙がない

⇒大学時代の友人に紙の支援要請

⇒支援要請の情報がネットに載る

⇒全国各地から紙を支援したいと連絡が多数・・・

教訓:報道やネットは十分注意すること

3. グランド(ヘリポートから仮設住宅地)と体育館(遺体安置所)が使えない。

## 吉里吉里中 学校再開に向けて



### 1. 生徒の必要なものを確保する

- ① 着るもの(制服・ジャージ・ハーフパンツ・Tシャツ)
- ② 学ぶときの必要にもの(教科書・ノート・ワーク・筆記用具など)
- ③ 学用品を入れるもの(スクールザック・エナメルバックなど)

### 2. 教育課程の見直し

- ① 授業時間数の確保
- ② 行事の精選
- ③ 大槌中さんとの調整

### 3. 生徒の心を育てる

- ① 命の大切さや思いやりの心を育てる
- ② 支援して下さる方々への感謝の気持ち
- ② 地域の一員としての自覚

**職員室では  
学校が再開したら**

# 被災状況と学校再開に向けて



・始業式 4月20日（町内小中同日） ・入学式 4月25日（町内小中同日）

	学校名	死者数	被害状況		
小学校	大槌小学校		浸水・損壊・焼失による <b>使用不可</b>	 山田の青少年の家	
	大槌北小学校	3名	浸水・損壊による <b>使用不可</b>		 吉里吉里小学校を間借り
	安渡小学校		倒壊の危険性により、 <b>使用不可</b>		
	赤浜小学校		浸水・損壊による <b>使用不可</b>		
	吉里吉里小学校		現在も使用中		
大槌中学校	2名	浸水・損壊による <b>使用不可</b>	大槌高校		
吉里吉里中学校		現在も使用中	吉里吉里中学校		

※大槌小、大槌北小、安渡小、赤浜小は2011年9月20日から大槌中学校は2011年9月22日から仮設校舎に移動

## 机が無くても勉強はできる





31

## 小中一貫教育導入の背景（震災後）



### ■校舎の被災

小学校4校、中学校1校が被災

→学習の場がない→不安感

### ■生活環境の変化

→避難所や仮設住宅での生活

仮設生活児童生徒 H25年 40%

→生活ストレス等

要サポート児童生徒 H25年 20%



### ★教育環境の復興

→安心して学べる新しい学校の建設

→9年間の継続性を持った学習・生活・心のケア

### ★学校だけでは解決できない課題解決への取組

→学校・家庭・地域住民の連携・協働でつくる教育

# 吉里吉里中 実践・1

## 「わたしたちにできるボランティア」



1. テーマ「わたしたちにできるボランティア」

2. ねらい

- ① 生徒ができる範囲で地域の復興に貢献し地域の一員であることを自覚させる。
- ② お世話になってきた地域の方々への感謝の気持ちを活動を通して表す。
- ③ 縦割りのグループ活動を通して、計画・実践・発表の流れを学習する。(3年生のリーダーシップ)

3. 期間 6月～7月中の総合の時間(12時間)

4. 各自のテーマを設定し、縦割りのグループ作り、計画・実践・発表を行う。

## 吉里吉里中 グループの活動実践例



総合「私たちにできるボランティア」 7月5日(火)の動き								
テーマ	活動内容	活動場所	準備するもの	担当	9	10	11	12
みんなを楽しませて笑顔にさせよう!	保育園で園児と一緒に楽しい時間を過ごす。	吉里吉里保育園(吉祥寺)	画用紙 割り箸 色ペン マジック等	菅原	学校でリハーサル 9:30まで	9:30出発 保育園での活動	11:00 保育園発	
過ごしやすい避難所にしよう	避難所の掃除	旧吉里吉里中学校体育館	清掃用具	阿部	移動 9:00	9:30 清掃活動開始 11:30 清掃活動終了		
学校周辺の清掃	学校周辺をできるかぎり清掃する。	学校周辺	軍手 マスク	竹澤	準備	9:00発 12:00帰校		
花を植える	花を植える	学校と国道周辺	花の苗、種	箱山	8:30~12:00 学校で花植え 国道へ運搬(釜甚前)			
合唱で感動と前へ進む力を!	施設で合唱を披露する。	らふたあヒルズ 堤保育園	楽譜(イーハトーブの風)	白澤	練習 移動	らふたあ 発表	移動 発表 堤保育園	移動
元気出せ!吉里吉里 ~ゴミ拾いとパレード~	パレードとゴミ拾い	吉里吉里町内	花の苗 リヤカー	菊池	準備	9:30出発 12:00帰校		
やっぺし虎舞	虎舞を披露する	吉里中体育館 らふたあヒルズ	虎舞道具一式	山藤	学校の準備後移動	らふたあ 発表	移動表	吉里中発 片付け

# わたしたちの取り組みが地域の力に



## 吉里吉里中 実践・2

### 「地域に貢献したい」という気持ちが文化祭に



「わたしたちにできるボランティア」の成功

地域では

- ・復興のペースが遅い
- ・生活、健康、将来の不安  
(自ら命を絶つ大人も...)

文化祭で地域の方々に生きる希望と勇気を与えたい。



## 文化祭

# 「道」～未来へつなぐ希望の光～



「命の大切さ」  
「困難に立ち向かい生きていこう」  
というメッセージを込めて

「道」の中には  
生徒一人一人の夢と希望が

## 吉里吉里中の取組を通して



○「わたしたちにできるボランティア」「文化祭」  
の取組を通して

- ・全力で取り組み達成感
- ・地域の方々の笑顔と感謝の気持ちが  
自分たちの喜びに



- ・中学生の限界



- ・大人になって復興を支える力になりたい

そのために、今しっかり「学ばなければならない」

## 仮設校舎で再々スタート



◇建設候補地の選定問題で遅れていた  
仮設校舎が9月に完成し、引っ越し、開校

- ・小学校棟 2棟（小学校4校が使用）
- ・中学校棟 2棟（大槌中学校が使用）
- ・体育館棟 1棟
- ・グラウンド

◇ほとんどがスクールバ

自分の教室！  
広い!!  
うれしい!!!

39

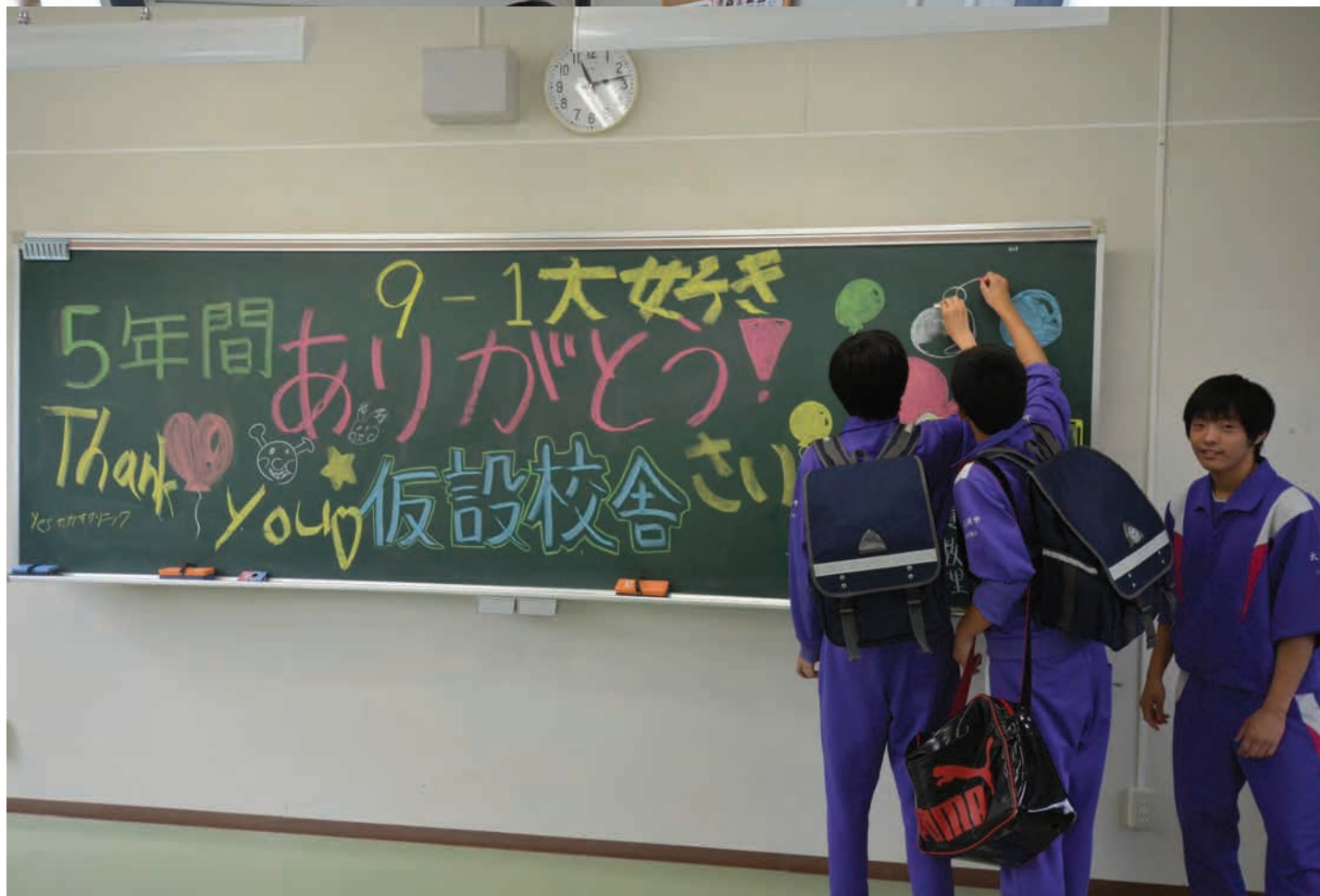
## 小・中がそろい対面式



小中あわせて  
740名が  
一緒に生活

40





## 大槌の教育の復興・発展に向けた考え方



震災後、誰も経験したことがない  
教育に我々は取り組んでいる。  
失敗を恐れずチャレンジして欲しい。  
※成功3割で一流！



伊藤 正治 元教育長



- ・現状の課題に的確に対応する。
- ・ダイナミックに進化し続ける。全ての可能性を探る
- ・子どもたち、家庭、地域、の思いや願いを具現化する。

# 今日の説明内容

- 1 震災からの復旧・復興について
- 2 大槌学園の校舎建築について
- 3 大槌町の教育の3つの柱について  
「小中一貫教育」「ふるさと科」  
「コミュニティ・スクール」  
**(防災に関わる部分の紹介)**
- 4 大槌町の教育の**成果と課題**  
**(ほんの一部紹介)**



## 新校舎建設のコンセプト

9年間をつなぐ  
自立した学びの場の創出



子どもたちの成長を連続してとらえる

一人ひとりをよく理解する

能力や個性を継続して伸ばす

# 子どもの意思を形に



新しい学校について  
子ども達に考えてもらおう

平成24年度(小学5年対象)

『未来の教室を考えよう』(日本ユニセフ協会支援プログラム)

地域の人  
が集まって  
交流できる  
学校に

通常は楽しく  
災害時は  
安心・安全な  
学校に

避難所に  
なっても  
リラックスして  
過ごせる学校に

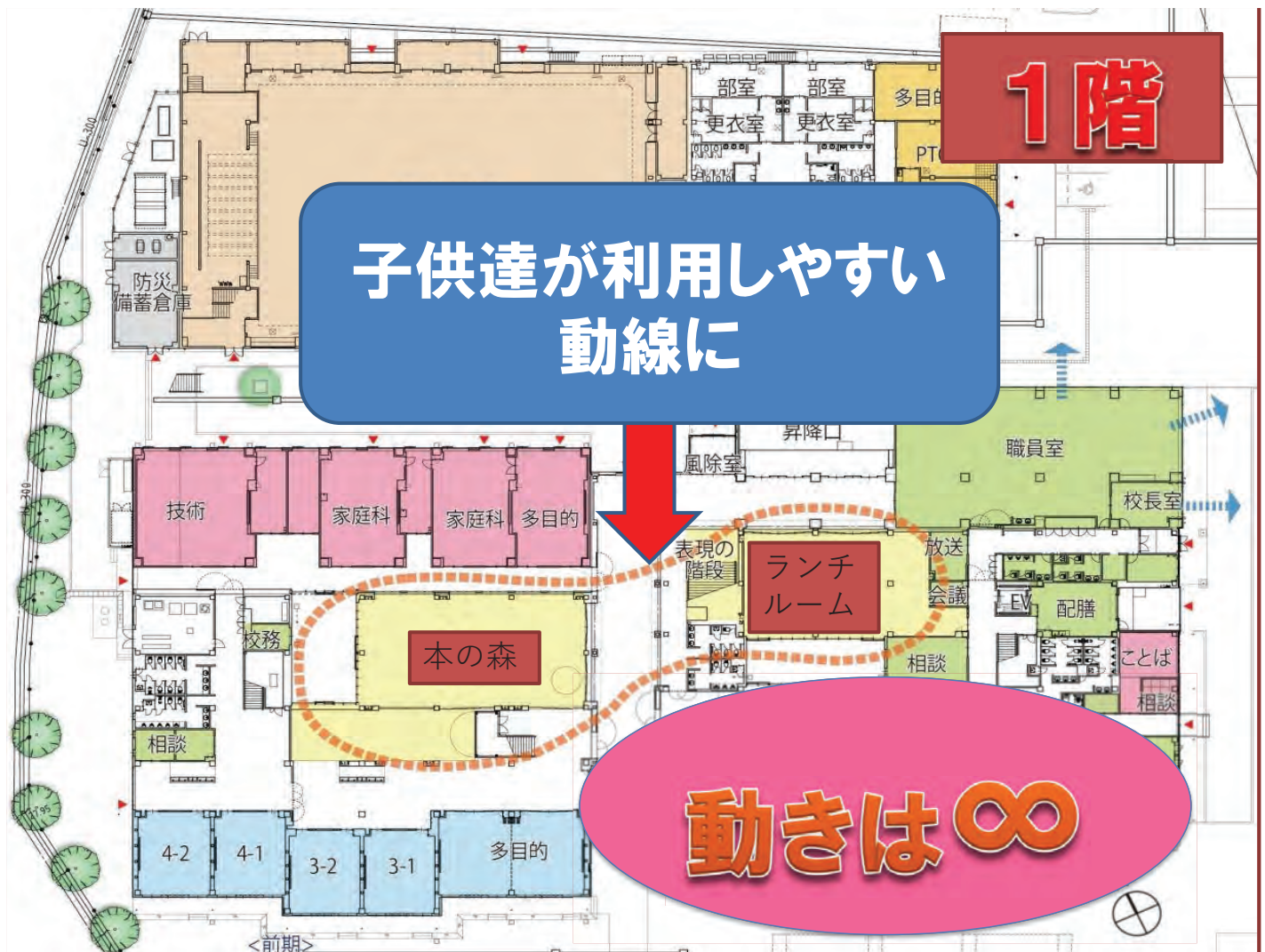


全校児童・生徒 教職員の  
寄せ書きを 1階の梁部分に

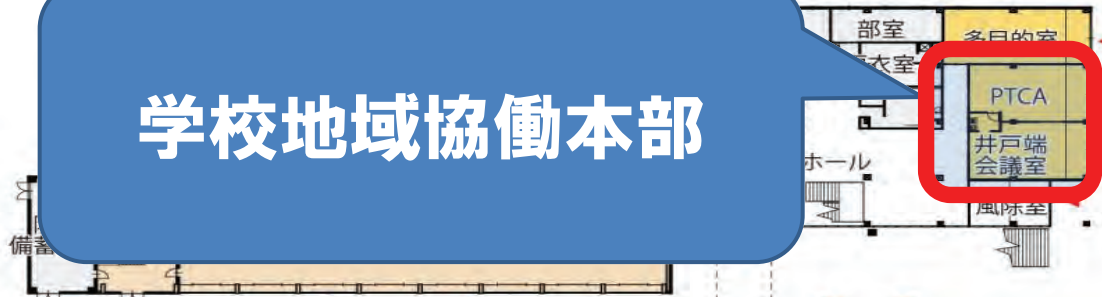
# 時を超えて まちが人を育て 人がまちを育てる学校



49



学校地域協働本部



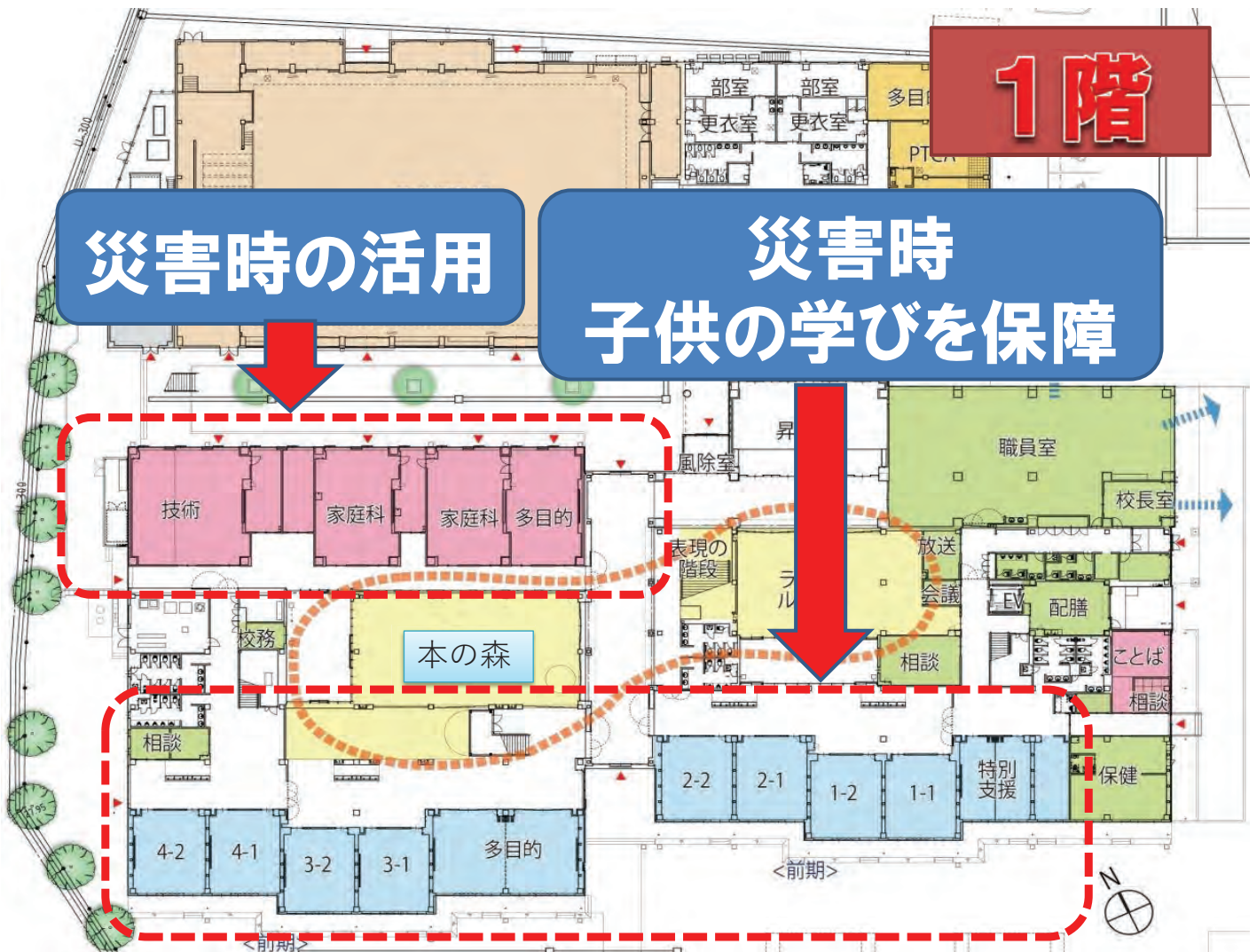
地域の人が出入りしやすい



1階

災害時の活用

災害時  
子供の学びを保障





# 災害時の活用



第1体育館奥には  
備蓄倉庫

校舎一階  
体育館から出入り  
できるように  
配置した  
家庭科室



53



54

# 今日の説明内容

- 1 震災からの復旧・復興について
- 2 大槌学園の校舎建築について
- 3 大槌町の教育の3つの柱について  
「小中一貫教育」「ふるさと科」  
「コミュニティ・スクール」  
**(防災に関わる部分の紹介)**
- 4 大槌町の教育の**成果と課題**  
**(ほんの一部紹介)**



大槌町の  
教育

**0歳から**  
**18歳を**  
**貫く教育**

大槌町の教育  
3つの柱だね

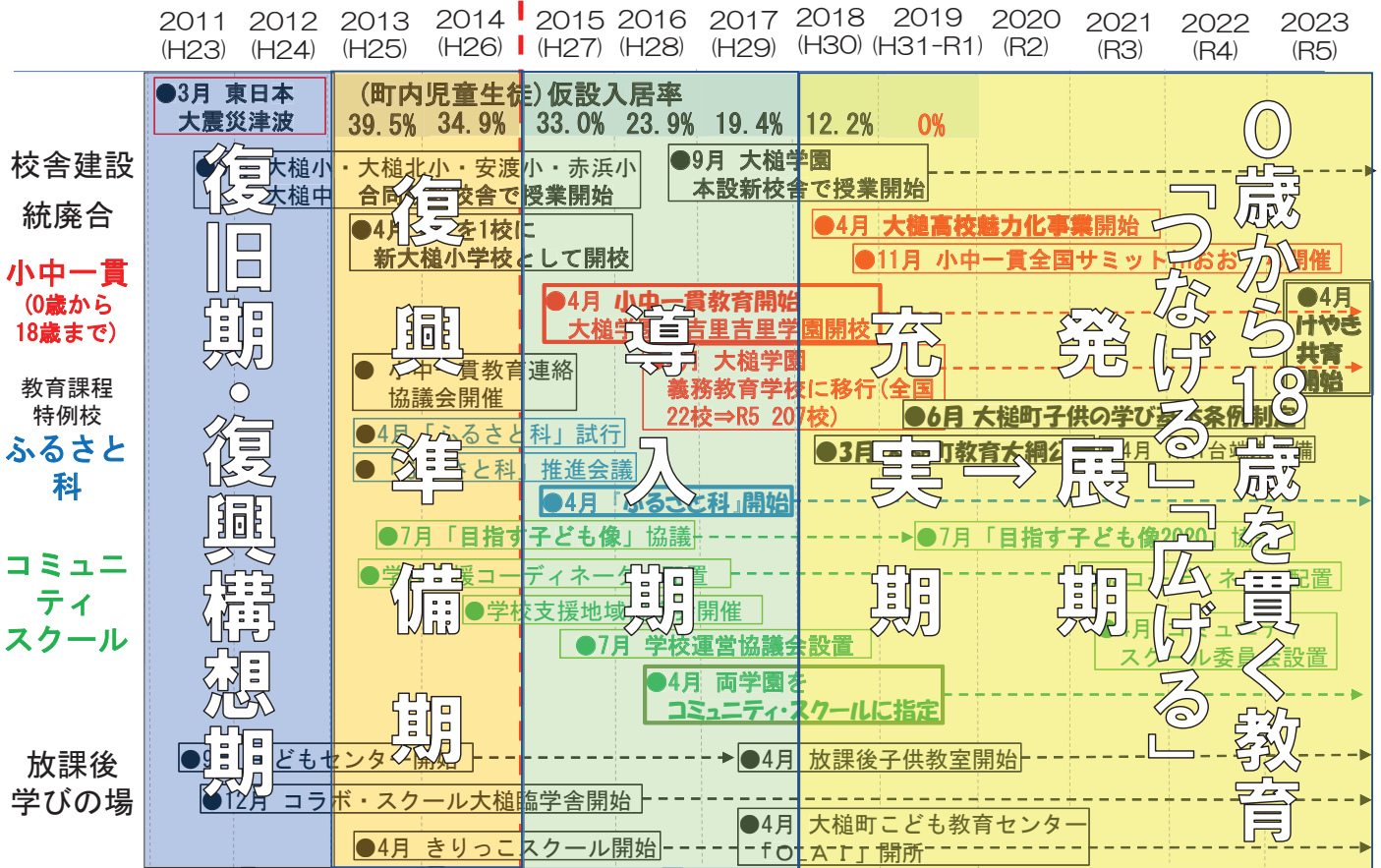
**ふるさと**  
**科**

**コミュニティ・**  
**スクール**



『教育』『ふるさと』『地域』とつなげる・広げる

# 大槌の教育のあゆみ



大槌町は、**教育を**  
**つなげる・広げる**  
**町です。**

～0歳から18歳を貫く教育～



# 大槌の小中一貫教育校



## 大槌学園

施設一体型の校舎



### 義務教育学校

崩壊したコミュニティを新しく作り  
出していく地域

## 吉里吉里学園

施設分離型の校舎

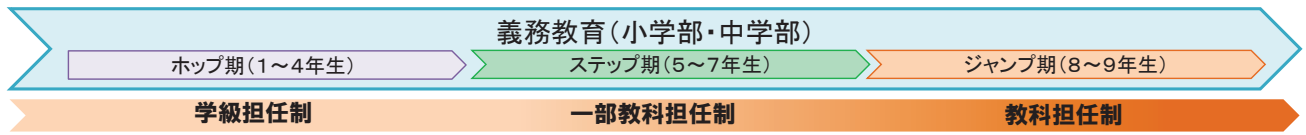


### 併設型小中一貫校

既存の校舎を活用し、これまでのコミュニティの良さを維持し豊かにしていく地域

9年間をつなげる・ひろげる（小中一貫教育）～「豊かな育ち」と「確かな学び」の保証～

- 一貫性のある学習指導（大槌型教育）
- 異学年との交流による成長（リーダー・フォロアーの育成）
- 9年間を見通して必要な資質・能力の育成と必要な体験・経験の提供
- 継続性のあるサポート（中1ギャップの解消）
- 3段階（ホップ・ステップ・ジャンプ）でのきめ細かな指導と見取り



# 大槌町の教育は ふるさとと

# 「つなげる・広げる」

～ふるさと科～



# 「ふるさと科」とは？



**「生きる力」や「ふるさと創生」を基盤とした  
特別の教育課程(生活科・総合+特活)**

## 3つの柱

地域への愛着を  
育む学び

生き方・進路指導を  
充実させる力を  
育む学び

防災教育を  
中心とした学び



**郷土に誇りをもち、社会の変化に柔軟に対応し、将来への夢や希望を描き実現へ向けて努力する子ども**

## 学びの系統（吉里吉里学園の例）



1年	海遊び・かねなり団子作り・防災(合同避難訓練等)
2年	海遊び・鮭について知ろう
3年	海山探検・吉里吉里弁・郷土芸能のあらし
4年	郷土芸能活動(9年生まで)・防災バックを作ろう
5年	森林教室・磯焼け
6年	新巻づくり・わかめ養殖の基礎知識・震災語り継ぎ
7年	わかめ養殖の現状やよさを知る・防災授業
8年	職場体験・わかめ加工、販売の体験
9年	職場体験・避難所運営をしよう



## まず逃げる・真っ先に逃げる・しっかり逃げる

- 自分の命は自分で守る（主体的な判断と行動）
- 自分がしっかり避難することで助かる別の命がある
  - ・ 家族もそれぞれの確に避難できる
  - ・ 避難行動が周囲の避難を促す



### 相互信頼の上に成り立つ避難

- ・ うちの子はきっと逃げている
- ・ あの場所に行ったら家族に会える
- ・ いつも話しているように逃げているはずだ
- ・ あの人たちが逃げているのだから逃げよう



避難しない人も・・・

## ふるさと科の学びから





## ふるさと科 防災教育を中心とした学び



命の大切さを見つめ、主体的に判断し行動する学び

**いつでもどこにいても  
自分の命は自分で守る**

ふるさと科の3つの柱

地域への愛着を育む学び



2020年、主体的に活動しながら、地域のよさを理解し、地域を愛する心を育む学びを体験する。

生き方・進路指導を充実させる力を育む学び



社会生活や進路について理解し、進路選択や人生設計について主体的に考え、実践力を育む学びを体験する。

防災教育を中心とした学び



自らの命を大切に、防災や安全について主体的に学習し、行動力により命を守る学びを体験する。

郷土の自然・地形や災害、防災体制の意義について理解を深め、災害時や防災に対する主体的な判断力と実践力を育成する。

### 大槌学園

- 防災リーフレットづくり (3年)
- 様々な災害を知る (5年)
- 東日本大震災をつなぐ (6年)
- 大槌防災検定づくり (7年)
- 避難所運営体験 (9年)**

### 吉里吉里学園

- ハザードマップづくり (小中全学年)
- 高校生の防災探究を知る(小中全学年)
- 小中合同避難訓練 (小中全学年)
- 避難所運営体験 (小中全学年)



## ふるさと科における「心の授業」



①  
地域への愛着を育む学び

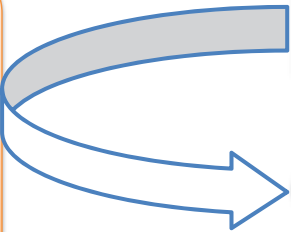
②  
生き方・進路指導を充実させる地下を育む学び

③  
防災教育を中心とした学び



社会的ストレス(人間関係の調整・感情の処理・自己肯定と自己実現)への対応

震災によるストレスへの対応



心の授業

こころのサポートコーディネーター

郷土に誇りをもち、社会の変化に柔軟に対応し、将来への夢や希望を描き実現へ向けて努力する子ども



# ふるさと科における「こころの授業」年間計画



学年	ねらう力	1学期	2学期	3学期
1 情動・気づく	自分の気持ちを感じ表現する いろいろな気持ち言葉を知る	「こころの授業で勉強できることを知ろう」 ・こころの力とは？ ・こころの授業の目的を知る	「いろいろな気持ちについて知ろう」 ・こんな顔の時はどんな気持ち？ ・最近の自分の気持ちを表現する	「友だちのハートにピンクをプレゼントしよう」 ・しあわせ宅配便(グループワーク) ・友達の良いさに気づく
	言葉が気持ちに影響することを知る 自分の気持ちを言葉で伝える方法を知る	「ふわふわ言葉の良さについて考えよう」 ・チクチク言葉、ふわふわ言葉を知る。(言葉によって気持ちがかわることに気づく)	「自分の気持ちをどのように伝えたらいいか考えよう」 ・像のアリス(紙芝居) ・自分も相手もOKな伝え方を知る。	「協力して問題解決をしよう」 ・色鉛筆忘れちゃった(グループワーク) ・協力して問題解決する体験をする
	ネガティブな部分を含め、自分の気持ちを見つめ表現する	「今日の『こころの説明書』をつくらう」 ・自分のこころをみつめ表現する	「自分のからだと向き合って、『からだの地図』をつくらう」 ・からだところのつながりを知る	「わたしを支えてくれる人の木」をつくらう ・自分を支えてくれる人の存在に気づく
4 行動・知る	言葉による気持ちのやりとり～聴く、伝える～について考える 情動のコントロール方法を知る	「めざせ聴き上手！～どんな聴き方がいいのか考えよう～」 ・聴き上手になる工夫を知る。	「自分の気持ちに気づいて伝えよう」(インサイドヘッド) ・自分の気持ちを感じ、言葉で伝える	「自分のイライラや怒りとうまく付き合う方法を知ろう」 ・自分と人の感情の違いを知る ・怒りのコントロール方法を知る
	5 安心なコミュニケーションの方法を知る	「『聴く』『伝える』力を使って問題解決をしよう」 ・ムシムシ教室の席替え(グループワーク) ・嫌なコミュニケーションについて考える	「どんなキャッチボール(コミュニケーション)をしたらいいのか考えよう①」 ・嫌なコミュニケーションについて考える	「どんなキャッチボール(コミュニケーション)をしたらいいのか考えよう②」 ・安心できるコミュニケーションについて考える
6 認知・考える	6 ストレスマネジメントを身につける① 「ストレス」を理解し、自分のストレスに適切に対処する。	「『マインドマップ』をつかって、ストレスを理解しよう」 ・ストレスマインドマップを作成する。 ・自分のストレスや対処法を考える。	「不安な気持ちとの付き合い方を考えよう」 ・気持ちの仕組みを知る。 ・自分を助ける方法を考える。	「自分を見つめ『わたしの木』をつくらう」 ・好きなこと、将来の夢、支えてくれる人を意識化する。
	7 ストレスマネジメントを身につける② 「考え」とストレス反応の関係を理解し、多様な考え方ができるようになる。	「ストレスマネジメントに挑戦しよう」 ・自分のストレス、ストレス反応、ストレス対処法を知る。 ・有効なストレス対処法を考える。	「いろいろな考え方をしてみよう」 ・ブレインストーミングでたくさん考え方ができることに気づく。 ・考え方によって、湧き出る気持ちや行動が変わることを知る。	「思い込みをやめ、客観的に考えてみよう」 ・思い込みや推測によってうまれる問題に気づく。 ・客観的に考える方法を知る。
8 統合・実現する	8 意思決定と合意形成 自分のストレス対処の特徴を知り、レパートリーを増やす。 自他の多様性を大切にしたい合意形成ができる。	「役に立つストレス対処のレパートリーを増やそう」 ・自分のストレス対処の特徴を知る。 ・自分のストレス対処法のレパートリーを増やす。	「みんなが納得できる結論をつくらう①」 ・大切なものランキング(グループワーク) ・理由を話せる意思決定と合意形成体験をする。	「みんなが納得できる結論をつくらう②」 ・NASAゲーム(グループワーク) ・理由を話せる意思決定と合意形成体験をする。
	9 集団の中で自分を活かす 自他の問題解決に向けて具体的な方法を考え、適切な選択をする。	「目標達成(問題解決)のための具体的な行動を考えよう」 ・問題解決行動のコツを知る。 ・自分の問題解決行動について考える。	「リフレミング」で、ポジティブな捉え方をしてみよう」 ・リフレミングの方法を知る。 ・自分と友人の短所をリフレミングする。	「これからの自分のために『わたしの木』をつくらう」 ・好きなこと、将来の夢、支えてくれる人を意識化する。 ・それぞれが、自分にとって大切であることに気づく。
その他	必要に応じて、SST・リラクゼーション・グループワーク 他		9月 心とからだの健康観察 11月 防災週間	3月 3月11日にむけて

## 大槌町の教育は 地域と

# 「つなげる・広げる」

～コミュニティ・スクール～



## コミュニティ・スクールの基本的な考え方



- 「小中一貫教育」とCSは分かちがたく  
一体化している。
- 学校は開かれなければならない。  
何を開くかは次の4つ。  
    「教育情報を開く」「教育活動を開く」  
    「学校経営を開く」「学校施設を開く」
- 学校が変わる、教育が変わるためには、  
内から変わらなければならない。
- 行政・地域・家庭、何より学ぶ子ども自体も  
変わらなければならない。

大槌町教育委員会元教育長 伊藤 正治

72

## 大槌町教育大綱改訂のための大槌町教育未来会議



## 地域学校協働本部の紹介



Q どこにありますか

A 大槌学園の体育館前「井戸端会議室」にあります。



74

## 地域学校協働本部の紹介



Q 担当の方はどなたですか。

A コミュニティ・スクールコーディネーターの  
祝田 さんが担当しています。



皆さんのお越しを  
お待ちしております。

令和5年度「ふるさと科」  
地域の先生は延べ106人  
なんだって！



75

# 学校支援地域カレンダーの提供



学校行事カレンダー 11月 大槌町コミュニティ・スクール協議会

日	月	火	水	木	金	土
					1 町立学時検診 【吉里小】防災演習(～11/12) 【吉里中】防災演習(～11/12) 【大槌高校】2学年PTA	2 おおつちこども園 熊の通り遊覧しぎ
3 文化の日	4 (振替休日)	5 【吉里中】防災講演会 【大槌高校】1学年PTA	6 地区連合音楽会 【大槌高校】後期生徒総会 ◆吉里吉里保育園 収穫祭	7 【吉里中】応急手当講習会 【大槌高校】後期中間考査 ◆吉里吉里保育園 お茶の日	8 【大槌学園】実力テスト(9年) 【吉里中】最終学年卒業学習 【大槌高校】後期中間考査 ◆おおつちこども園「お誕生会」	9 【大槌学園】町防災訓練参加 【吉里小】小中合同避難訓練 【吉里中】小中合同避難訓練 ◆さくらこども園「お誕生会」
10 【大槌高校】奉迎式(大槌町立大槌高等学校)	11 【大槌高校】後期中間考査 【大槌学園】振替休日 【吉里小】振替休日 【吉里中】振替休日	12 【大槌高校】後期中間考査 ◆吉里吉里保育園 防災Vレコード	13 【吉里小】マラソン大会 【吉里中】生徒総会 【大槌高校】追考査	14 【大槌学園】避難所運営(9年) 【吉里中】奉迎式(大槌町立)	15 11/15 七五三誕生会 ◆おおつちこども園 ◆みどり幼稚園 七五三参観日 ◆吉里吉里保育園	16 高学特別入学生(後期)
17 奉迎式(後期)	18 【吉里中】奉迎式(後期)(～11/19)	19 【大槌学園】音楽演奏会(後期)	20 【吉里小】秋の祭(後期) 【吉里中】期末テスト	21	22 【吉里小】おむすび作り(奉迎)	23 勤労感謝の日
24 【大槌高校】奉迎式(大槌町立大槌高等学校)	25 【大槌学園】期末テスト(後期)	26 【大槌学園】期末テスト(後期)	27	28 ◆吉里吉里保育園 誕生会	29	30

## 大槌町のコミュニティ・スクールの評価



コミュニティ・スクールに先進的に取り組んでいる地域が3つあります。西が京都府、東が三鷹市、北がここ大槌町である。

元文部科学副大臣 鈴木 寛 様  
於：大槌町教育みらい会議

# 今日の説明内容

1 震災からの復旧・復興について

2 大槌学園の校舎建築について

3 大槌町の教育の3つの柱について

「小中一貫教育」「ふるさと科」

「コミュニティ・スクール」

(防災に関わる部分の紹介)

4 大槌町の教育の成果と課題

(ほんの一部紹介)

また来てね！  
待ってます!!



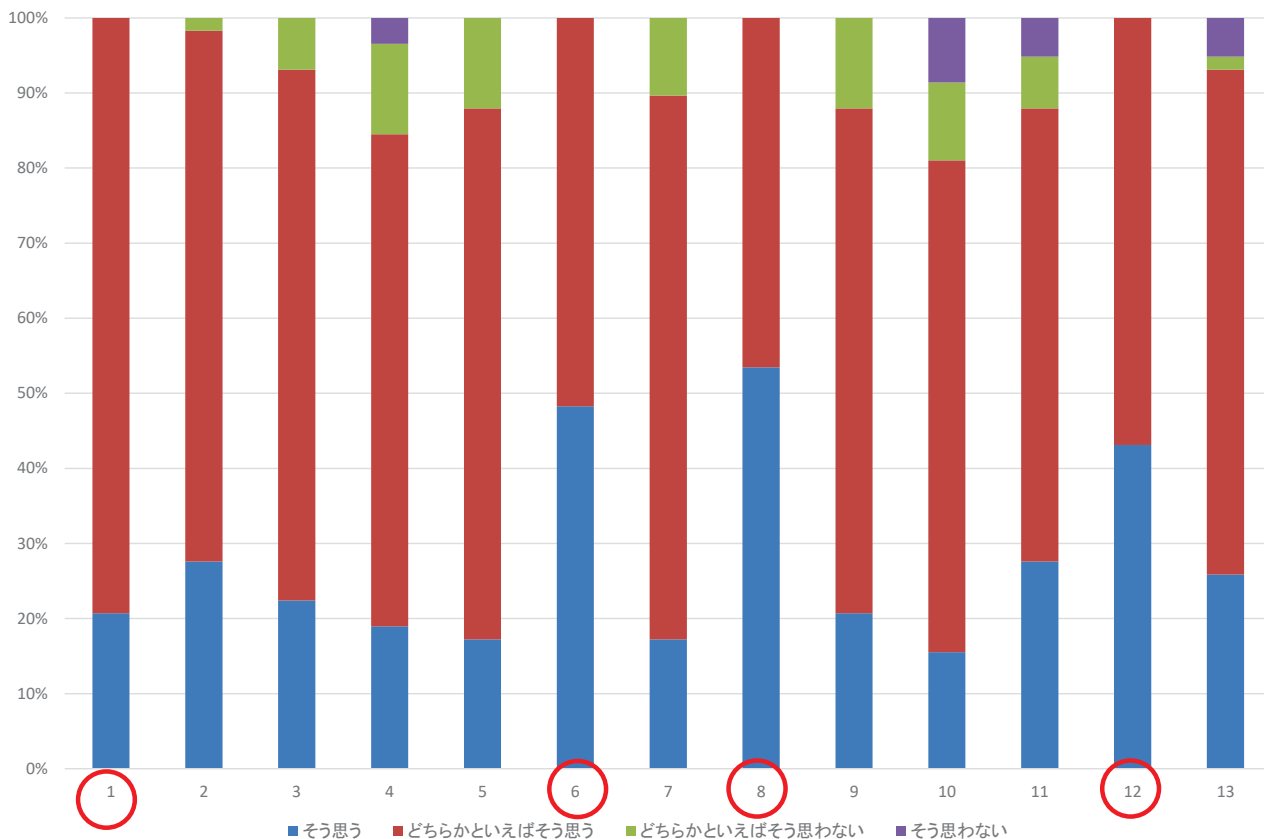
## R6全国学調質問紙6年生の結果

強い肯定的な回答が国・県を上回った項目が7割を超える

全国学調 6年生 質問紙で強い肯定的な回答が国・県を上回った項目

- 朝食を毎日食べていますか
- 健康に過ごすために、授業で学習したことや保健室の先生などから教えられたことを、普段の生活に役立てていますか
- 先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか
- 人が困っているときは、進んで助けていますか
- いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか 肯定的な回答100%
- 人の役に立つ人間になりたいと思いますか
- 自分と違う意見について考えるのは楽しいと思いますか
- 友達関係に満足していますか
- 普段の生活の中で、幸せな気持ちになることはどれくらいありますか
- 分からないことや詳しく知りたいことがあったときに、自分で学び方を考え、工夫することはできていますか
- 地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか
- 5年生までに受けた授業で、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使用しましたか
- 5年生までの学習の中でPC・タブレットなどのICT機器を活用することについて、次のことはあなたにどれくらい当てはまりますか。ペースで理解しながら学習を進めることができる
- 5年生までの学習の中でPC・タブレットなどのICT機器を活用することについて、次のことはあなたにどれくらい当てはまりますか。
- 5年生までの学習の中でPC・タブレットなどのICT機器を活用することについて、次のことはあなたにどれくらい当てはまりますか。
- 5年生までの学習の中でPC・タブレットなどのICT機器を活用することについて、次のことはあなたにどれくらい当てはまりますか。
- 5年生までに受けた授業では、各教科などで学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめる活動を行っていましたか
- 5年生までに受けた授業は、自分にあった教え方、教材、学習時間などになっていましたか
- 学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができていますか
- 学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができていますか
- 授業で学んだことを、次の学習や実生活に結びつけて考えたり、生かしたりすることができると思いますか
- 先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれていると思いますか
- 授業や学校生活では、友達や周りの人の考えを大切に、お互いに協力しながら課題の解決に取り組んでいますか
- あなたの学級では、学級生活をよりよくするために学級会で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めていますか
- 学級活動における学級での話し合いを生かして、今、自分が努力すべきことを決めて取り組んでいますか
- 道徳の授業では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいますか 肯定的な回答100%
- 国語の勉強は大切だと思いますか
- 国語の授業で、違う点や似ている点を意識したり、図で示したりしながら、情報を整理していますか
- 国語の授業で、目的に応じて、話すために集めた材料を、いくつかのまとまりに分けたり結び付けたりしながら、伝える内容を考えていますか
- 国語の授業で、目的に応じて、簡単に書いたり詳しく書いたりするなど、自分の考えが伝わるように工夫して文章を書いていますか
- 国語の授業で、物語を読むときに、登場人物の性格や特徴、物語全体を具体的にイメージし、どのような表現で描かれているのかに着目していますか
- 算数の勉強は大切だと思いますか
- 算数の授業の内容はよく分かりますか
- 算数の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか
- 算数の授業で学習したことを、普段の生活の中で活用できないか考えますか
- 算数の問題が解けたとき、別の解き方を考えようとしていますか
- 算数の授業で学習したことを、今後の学習で活用しようとしていますか
- 理科の勉強は好きですか
- 自然の中や日常生活、理科の授業において、理科に関する疑問を持ったり問題を見いだしたりすることがあります
- 理科の授業では、自分の予想をもとに観察や実験の計画を立てていますか
- 英語の勉強は好きですか
- 英語の勉強は大切だと思いますか

# R6. 7 大槌町教職員アンケート

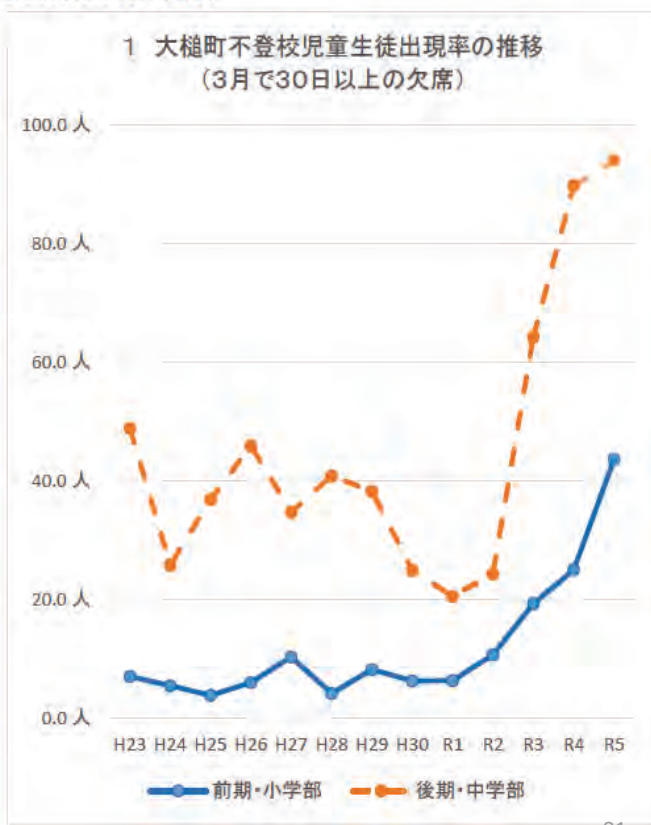


## 課題1 不登校(傾向) 児童生徒の急激な増加



### 1 大槌町不登校児童生徒出現率の推移(3月で30日以上欠席)

	前期・小学部			後期・中学部		
	不登校児童生徒数	児童数 *3月時点	出現率 ※1000人あたり	不登校児童生徒数	生徒数 *3月時点	出現率 ※1000人あたり
H23	4	576	6.9人	19	389	48.8人
H24	3	556	5.4人	9	349	25.8人
H25	2	533	3.8人	13	353	36.8人
H26	3	507	5.9人	15	327	45.9人
H27	5	488	10.2人	11	317	34.7人
H28	2	487	4.1人	12	294	40.8人
H29	4	491	8.1人	10	262	38.2人
H30	3	484	6.2人	6	241	24.9人
R1	3	481	6.2人	5	244	20.5人
R2	5	470	10.6人	6	247	24.3人
R3	9	468	19.2人	16	249	64.3人
R4	12	481	24.9人	21	234	89.7人
R5	20	459	43.6人	22	234	94.0人
	全国(R4)		17.0人	全国(R4)		60.0人



# 大槌町の教育



## 課題があればすぐに対応

# R5 「けやき共育」スタート

文部科学省「地方教育行政における連携促進事業」採択



キーワードは  
**Well-being(ウェルビーイング)**

## 大槌町HP教育委員会『おおつち一貫教育推進』かわら版より一部抜粋



### ○「けやき共育」での新たな事業、更に内容を充実させる事業紹介

- ・特別支援教育支援員1名増員(町内各学園合計7名に)
  - ・けやきルーム(こどもセンターOLAI)に支援員を新たに常駐 ※支援員兼けやき体験学習コーディネーター  
→学園に登校できない児童・生徒の居場所、16歳からのけやき教室(けやきルームと同様)の開設
  - ・けやき体験学習(年2回から年7回実施)、けやき表現活動(年5回)※自由表現のワークショップ
  - ・視察研修 天童市(単元別自由進度学習)、福島県大熊町立学び舎夢の森(個別最適な学び) 名古屋市立矢田小学校他(単元別自由進度学習) 特別ニーズ教育学会の参加
  - ・けやき相談会(毎月)※精神科医の相談会、保護者サロン(年3回)
- 「けやき共育」とリンクさせて
- ・ミライシード「ドリルパーク(AIドリル)」「まるぐランド(発達特性に応じた学習アプリ)」「スピーキングクエスト(AI学習アプリ)」の導入 ※ドリルパークは大槌町学力調査とリンクして使用できます。

### 大槌町 多様な学びの場の選択肢





## 「令和の日本型学校教育」を 推進する 地方教育行政の充実に向けた 手引き

[ Vol. 1.0 ]

文部科学省初等中等教育局  
初等中等教育企画課



### CASE 04

## プロジェクトチームを通じた 特別支援的アプローチによる不登校対策 (岩手県大船町)

岩手県大船町は、不登校・不登校傾向にある児童生徒の急激な増加を受け、令和5年度から教育委員会と首長部局の福祉部局をはじめとした横断的な「けやき共育」推進プロジェクトチームを設けました。また、総合教育会議を要として、プロジェクトチームが実施している事業の進捗管理、関係者・学識経験者からの意見聴取等を通して、確実な事業運営を行い、「誰一人取り残されない学びの保障」の実現を目指しています。

■ 大船町の基礎データ(令和5年5月1日現在)

	人口 (人)	義務教育学校数 (校)	前期、小学部児童数 (人)	後期、中学部生徒数 (人)
大船町	10,928	2	462	234

### 1 取組の背景

- ▶ 不登校・不登校傾向にある児童生徒の急激な増加  
大船町では、令和3年度以降、不登校・不登校傾向にある児童生徒が急激に増加しています。急激な増加の背景には、新型コロナウイルス感染症の拡大や、家庭環境に加え、特別支援的アプローチが必要
- ▶ 不登校・不登校傾向にある児童生徒の増加が確認されており、その中で、特別支援教育についての視点を踏まえながら、「不登校児童生徒を未然に防ぐ取組」、「不登校児童生徒へのきめ細やかな支援体制の構築」が必要となりました。

### 2 取組概要

- ▶ 「けやき共育」推進プロジェクトチームの立ち上げ  
大船町の0歳から18歳までの全ての子どもたちを対象に、特別支援教育の視点で支援することによって、「目指す子供の姿(自立・協働・創造)」「誰一人取り残されない学びの保障」の実現を目指す「けやき共育」を立ち上げました。併せて特別支援的アプローチの連携を高め、訪問支援等日常的な相談体制の充実や継続的な研修会の実施等を推進するために、教育委員会だけでなく、町内の学校、教育支援機関、首長部局(健康福祉課)、地域、児童精神科
- ▶ 総合教育会議の実施、会議中での関係者・学識経験を有する者からの意見聴取  
年3回総合教育会議を実施し、その中で、「けやき共育」の計画や進捗状況をプロジェクトチームが報告の上、評価・検証を行っています。会議資料に

# 子どもたちの笑顔のために



各学園も、家庭も、地域も、  
関係団体やNPOも、  
本気で取り組んでいます。



# 東日本大震災から12年



多くの逆境  
を乗り越え

さらに魅力  
あふれるまちに



大槌町は**未来**へ  
「**つなげる・広げる**」  
教育を創ります。



“2050年の大槌を  
つくる教育を「ともに」つくる”

—Together, Let's create an  
education that shapes Otsuchi  
future in “2050”—

2024年大槌町教育大綱改訂版(案)より

0歳～18歳までの一貫教育を縦糸に  
コミュニティ・スクールを横糸に  
学校はもとより町民総掛かりで  
織りなす教育を推進します。

大槌町教育委員会



れ副会長！頑張れ “みさ

校全員で応援しています 元気を届けてく





ご清聴ありがとうございました。

